人工衛星GeoEye-1がとらえた「六甲アイランド」（1）

データ提供：日本スペースイメージング株式会社
データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前号から人工衛星GeoEye-1から見た「国土の姿」を紹介しています。下図は、兵庫県神戸市・六甲アイランドのトゥルーカラー合成画像（Pan-sharpened image：地上分解能0.5m）です。これは、パンクロマチック画像(地上分解能0.5m)とマルチスペクトル画像（地上分解能2.0m）を合成した画像です。六甲アイランドは、1992年9月に完成し、総面積580ヘクタールの人工島です。下の画像を見ると、六甲大橋と六甲アイランド橋の間を走る船の航跡までも把握でき、GeoEye-1の地上分解能の高さには目を見張るものがあります。地表面の時系列分析、環境監視支援等、高分解能衛星は重要な役割を担っています。

過去の「国土の姿を見る」 画像集は次のURLでご覧いただけます。http://www.jacic.or.jp/books/jacicjoho/kokudo/kokudo_index.html